

+ Viva Kango

Campus News of the Japanese Red Cross Hokkaido College of Nursing

日本赤十字北海道看護大学

第1回

保護者懇談会を開催

八十二名の保護者が参加されました

昨年十月十四日(日曜日)午後一時より、本学と後援会の連携のもと第一回保護者懇談会が開催されました。参加された保護者の方は六十三組(八十二名)でした。当日は、大学側から教務、学生生活、就職、国家試験等についてガイダンスを受けた後、施設見学、個別懇談が実施され、我が子の成績や進路について担任の先生と熱心に話し合う様子が見られました。



参加者(組数)の学年別内訳は、一年生(七組)、二年生(十八組)、三年生(二十一組)、四年生(十六組)でした。三年生の保護者の方の関心が特に高かったようです。当日は、石井トク学長のご挨拶、岡森由美子後援会会長のご挨拶の後、大西章恵学部長より本学のカリキュラムや学生生活について報告がありました。続いて希望者は学内の施設見学に参加。同時に本学食堂において個別懇談会が開催されました。個別懇談では学長および学年担任がブースを設置し、学生の成績や学生生活等について個別の相談に応じました。

参加者からは、「入学式に参加できなかったので見学会が得られ嬉しい」、「子供の様子が良く分かった」、「毎年開催して欲しい」などの声も聞かれ大変好評でした。

秋の芸術 展示会開催

自治会長 二年生 澤野裕哉

二〇〇六年のスポーツ大会や大祭などを思い出として振り返り、作品があれば、それを多くの人に见てもらおう機会を設けようと自治会が企画した十一月の秋の芸術展示会。五日間という短い期間ではありましたが、食堂前ホールと一教室を借りて展示をしたところ、多くの方が観覧してくださいました。作品を提供してくださった学生や教員の皆様ありがとうございました。この展示会は、来年も実施したいと考えています。作品が集まるほど盛大なものとなりますので、開催の際には学生や教員の皆様の協力、また今年同様多くの観覧をお願いします。



平成
19年度

看護研究演習 ポスター発表会

昨年十二月六日（木）、四年生一〇六名による看護研究演習発表会が三つの看護実習室を会場に開催されました。当日は発表者はもとより、司会、タイムキーパーも学生自身が担当。一演題につき発表五分、質疑応答二分という限られた時間の中で、約一年半に及び研究の成果を緊張と喜びの中で発表しました。研究指導に当たった教員もその出来映えに大きな拍手を贈っていました。



「こんな大変なこと自分たちにも出来るだろうか」と若干の不安の声もありました。

今年度の研究演習は全六三題。三年生後期に研究領域が決まって以来、指導教員によるマンツーマンの指導のもと、熱心に看護研究に取り組んできました。発表はポスター発表形式で行われ、幅九センチ、縦百五十センチのパネル一面に研究の流れと成果をとりまとめ、図表を用いながらわかりやすく研究内容を報告していました。今年の発表会にはこれから看護研究を始める三年生も全員参加。先輩の研究成果に感心すると同時に、「こんな大変なこと自分たちにも出来るだろうか」と若干の不安の声もありました。



国際交流の集い

国際交流委員会
委員長 伊藤善也

十一月二十七日（火）十八時から本学講堂において「国際交流の集い」が開催されました。

一年生を中心に百二十一名の学生と教職員が三名の方の講演に聞き入りました。

今回、特別講演をお願いしたのは海外青年協力隊の一人としてスリランカで保健師活動に従事された、訓子府町保健師の杉本麻美子さんです。気候、言語、文化や習慣が異なる国で与えられた課題を解決していくことは容易ではありません。時には異なった視点からアプローチすることが大切であることや基本的な部分では日本もスリランカも同じであることを教えてくださいました。

さらにJICAの国際協力推進員の高橋久美子さんは海外青年協力隊とは何かを解説してくださり、今夏のオーストラリア研修に参加した本学二年生の秋田夢子さんは研修内容を報告してくださいました。海外がより身近に感じられたことと思います。

このような「国際交流の集い」から、世界で活躍する学生、教員、そして卒業生が生まれることを祈念しています。



学生自治会執行部からのご案内

ちょっと待って！ 捨ててしまう前に リサイクル企画

「まだ使えるんだけど…」と思いながら物を捨ててしまったことはありませんか。もしかしたら、あなたの捨てようとしている物はほかの誰かが必要としているかもしれません。

物を長く大切に使うことは資源の節約やごみの減量につながります。学生自治会執行部では、今年もリサイクル企画を実施しています。「品物を譲りたい人」、「品物を譲って欲しい人」は、ぜひ一度、食堂前ホールのホワイトボードをご覧ください

教職員の皆様のご協力もお願いします。

品物提供締切：平成20年3月12日
企画開催期間：平成20年7月まで

災害救護訓練について

昨年七月十二日常呂川河川敷にて日赤道支部主催の災害救護訓練が行われました。当日はあいにくの雨模様でも寒い日でしたが、当大学からは三年生一〇〇名、教員六名が参加しました。救護班は、道内の各日赤病院より十一班六十六名が救護を実施し、協力機関として、自衛隊、北見地区消防組合など合計三七二名が参加する大規模な訓練となりました。

北見市を震源とするマグニチュード八・〇の地震が発生したために家屋の倒壊、道路の破損、多くの負傷者がでたという設定で訓練が開始され、学生は、朝早くから傷病者役を演じる準備を行いました。初めは緊張していましたが、次第に演技に熱が入り、救護班も驚く迫真の演技でした。訓練後の学生からは、「各救護班に救護されることにより救護される側の気持ちを理解することができた。ま

た、赤十字の大学生として災害救護に対する認識をさらに高めることができた」という感想を得ることができました。日赤道支部からは、「傷病者役として寒いなか何度も熱心に演技をしていただきありがとうございました。今回参加された三年生の皆様および教職員の皆様本当にお疲れ様でした。次年度の災害救護訓練は旭川で行われる予定となっております。



山本准教授

学会奨励賞受賞の栄誉



准教授
山本 憲志

基礎科学講座で健康論・体育実技などを担当されている山本憲志准教授が、昨年十一月に名古屋工業大学で開催された第四十六回日本生気象学会において学会奨励賞を授与され、その記念講演「脊髄切断は麻酔下ラットにおける人工炭酸水浴中の心拍数減少を抑制する」(原題は英文)が行われました。

奨学金貸与状況

平成19年12月1日現在

名称	貸与金額	1年生	2年生	3年生	4年生
日本赤十字社北海道支部奨学資金	年額 60万円	60	48	48	50
日本赤十字社看護部同会奨学資金	月額 2万円	1	2	1	3
北海道看護職員養成修学資金	月額 3.6万円	2	1	3	1
北見市大学生奨学資金	年額 60万円程度	23	15	16	20
日本学生支援機構 第1種奨学金	月額 5.3~6.4万円	12	11	16	11
〃 第2種奨学金	月額 3~10万円	36	50	36	38
武蔵野赤十字病院奨学資金	年額 60万円		1	2	1
静岡赤十字病院看護部奨学資金	月額 6万円		1		2
日本赤十字社和歌山医療センター奨学資金	年額 60万円		1	2	1
さいたま赤十字病院奨学資金	月額 5万円	1	1	1	1
日本赤十字社医療センター奨学資金	年額 60万円			1	
日本赤十字社福島県支部	月額 10万円	1			
名古屋第一赤十字病院奨学資金	月額 4万円			1	
横浜市立みなと赤十字病院奨学資金	月額 5万円			1	

入試情報

〈看護学部〉

推薦入試(定員四十五名)、社会人入試(定員若十名)が昨年十一月十八日(日)に本学を会場として行われました。推薦入試受験者六十一名及び社会人入試受験者八名が小論文と面接試験を受け、推薦入試五十一名・社会人入試六名が合格しました。

一般入試(定員四十五名)は、今年の二月二日(土)、本学と札幌及び東京の三ヶ所で行われます。試験科目は英語、小論文そして

選択科目の計三科目です。また、センター入試(定員十名)は、英語・国語そして選択科目の計三科目です。本学独自の試験は課しておりません。合格発表は、一般・センター入試とも二月八日(金)です。

〈大学院看護学研究科〉

昨年の九月二十三日(日)に実施した一期の入学試験(定員六名)は、本学を会場にして各専門領域の試験科目、英語そして面接試験を受け三名が合格しました。

二期の入学試験は、今年の二月二十四日(日)に実施し、二月二十六日(火)に合格発表します。

校歌の募集

本学は平成二十一年に創立十周年を迎え、記念事業として校歌を作ります。校歌の作曲は専門家に、歌詞については一般公募を行います。

在学生、卒業生の皆さんの中で校歌の応募に興味のある方は総務課までご連絡下さい。

教職員人事

【採用】平成十九年十一月一日付け 教授 澤田 愛子

編集後記

年末は、看護開発センター記念講演会に市民公開講座、それから保護者懇談会の開催など行事が多岐でした。看護研究演習発表会も賑やかに行われ、無事に一年を締めくくることができました。そのような経緯で、+ Viva Kango 第二十一号はたくさんの方にピックアップ掲載することになり、編集にちよつと苦労しました。この小誌が皆様のお手元に届く頃は、暦の上では大寒です。どうぞ皆様ご自愛專一に。

日本赤十字北海道看護大学学内誌

+ Viva Kango

第21号

発行日/2008年1月31日
編集・発行/広報委員会

〒090-0011 北海道北見市曙町864-1
TEL (0157)66-3311 FAX (0157)61-3125
mail to: kouhou@rchokkaido-cn.ac.jp
http://www.rchokkaido-cn.ac.jp